

(例)

適 性 検 査 I

注 意

- 1 問題は①から③までで、8ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは__時__分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

すみだ ち く ちゅうこういっかん ねんせい がっこう かしょう
墨田地区中高一貫6年制学校 (仮称)

すすむくんの学校では5月に遠足で飯ごう炊さん^{すい}をしました。すすむくんのグループのこん立はカレーライスです。米をといでいるすすむくんと野菜と肉を切っているまゆみさんが作業をしながら会話をしています。

まゆみ：カレーを作って食べるのは久しぶりだわ。うちでは最近、駅前のカレー屋さんに家族で食べに行くようになったの。

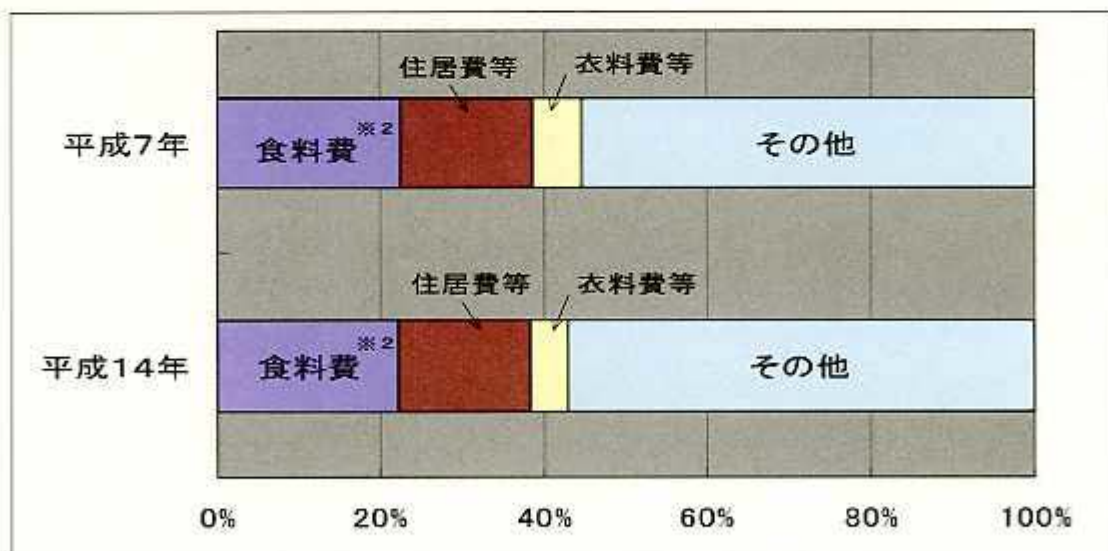
すすむ：うちではお母さんが、「食事は材料を買ってきて家で作ったものがいちばんおいしいの。そのほうがお金もかからないしね。」と言って、めったに外では食事をしないよ。

まゆみ：いろいろな家があるのね。来週、学級新聞を作る予定だったわよね。わたし、うちで日本人の食生活の変化について調べて、特集記事を書いてみるわ。

家に帰ってから、まゆみさんはインターネットを利用して資料を探しました。すると、まず<資料1>が見つかりました。

このグラフを見て、まゆみさんは「食料費の割合は平成7年と平成14年を比べるとほとんど変わっていない。」ことに気づきました。

<資料1> 1世帯^{※1}あたりの消費支出のうちわけ(勤労者世帯の1カ月平均)^{※2}



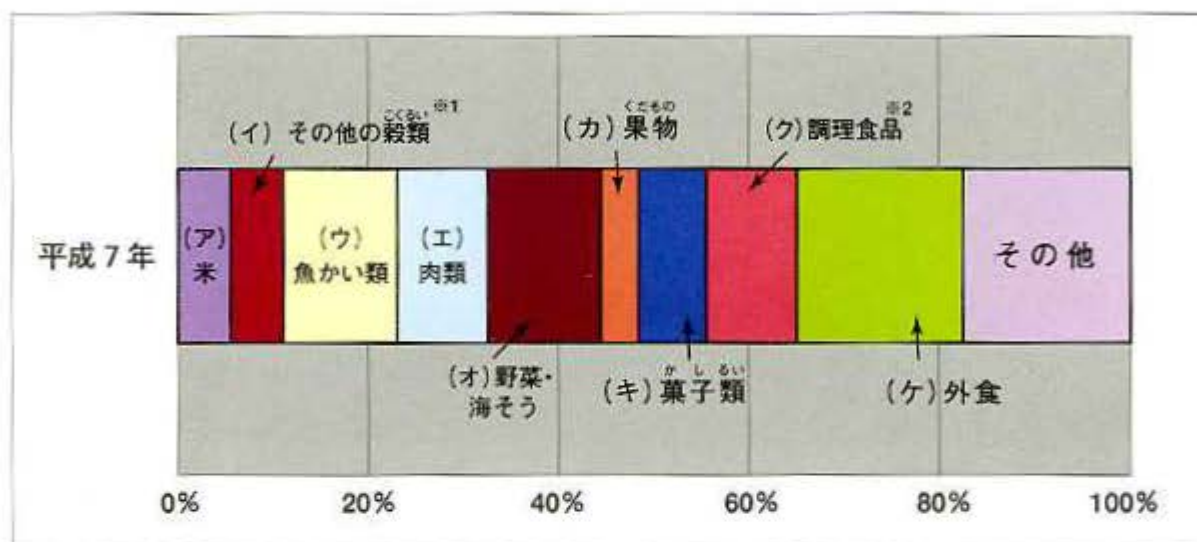
総務省統計局「家計調査年報(平成15年)」より作成

※1 世帯とは同じ家に住み、家計(一家の収入と支出)をいっしょにして暮らしている人びとの集まりのことです。

※2 食料費には食べること、飲むことに使われる費用すべてがふくまれています。

さらに、まゆみさんは食料費のうちわけについてくわしく調べようと資料を探したところ、＜資料2＞が見つかり、平成7年の食料費のうちわけは下のようになっていました。

＜資料2＞1世帯あたりの食料費のうちわけ（勤労者世帯の1カ月平均）



総務省統計局「家計調査年報（平成15年）」より作成

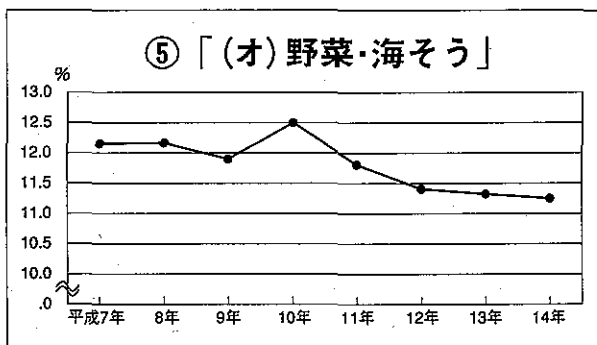
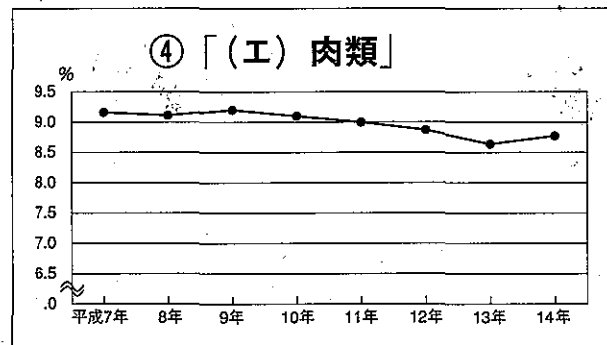
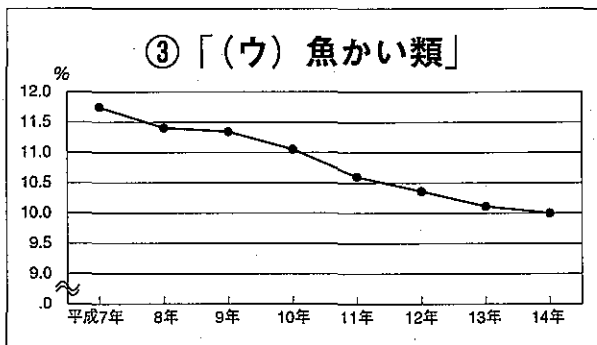
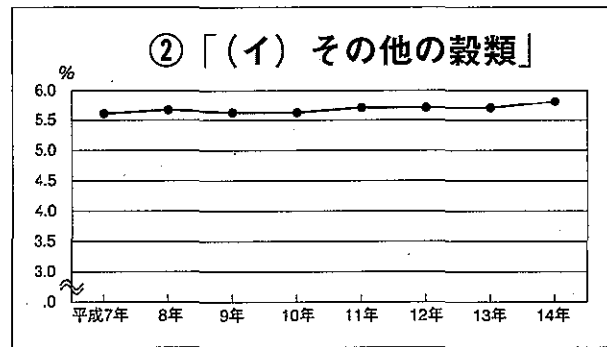
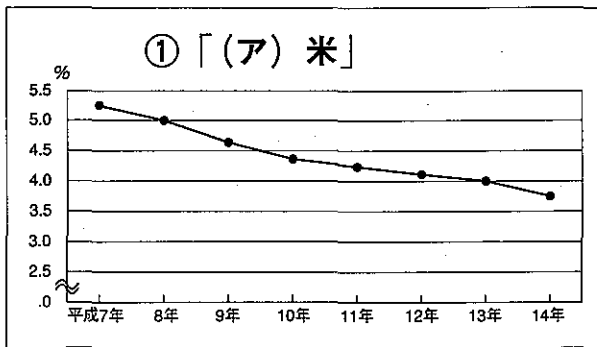
※1 その他の穀類とはパン、めん類などの米に代わって主食となる食品

※2 調理食品とはすでに調理されているもので、そのままもしくは温めて食べる食品

まゆみさんは、平成7年の食料費のうちわけがこの後どのように変化したかを考えれば、日本人の食生活の変化がわかると思いました。

そこで、＜資料2＞のうちわけの中で、主食となるものや家庭で調理するものである（ア）～（オ）にかかる費用について、食料費全体に占める割合がどう変わっていったかを調べたところ、次の＜資料3＞の5つのグラフが見つかりました。

<資料3> (ア)～(オ)の食料費全体にしめる割合の移り変わり



総務省統計局「家計調査年報(平成15年)」より作成

- (問題1) <資料3>の①～⑤の5つのグラフのうち2つ以上を選び、そこからわかることを書きなさい。なお、そのとき選んだグラフの番号も書くこと。
- (問題2) <資料2>の食料費のうちわけの中で、平成14年に増えたと予想されるものを(カ)～(ケ)から2つあげ、その原因として考えられることをそれぞれ1つずつ書きなさい。
- (問題3) 日本人の食生活が、(問題2)で予想したように変化していることをもとに考えると、あなたは将来どのような食生活しょうらいをしたいと思いますか。理由をあげて、あなたの考えを書きなさい。

あいさんのクラスでは、総合的な学習の時間で地球の環境^{かんきょう}について学習を進めてきました。

そこで、あいさん、みさきさん、たくやくん、しょうたくん、けんたくんの5人の班^{はん}は、もっとくわしく調べるために夏休みの3日間を利用して、1日目に国立科学博物館、2日目に日本科学未来館、3日目に環境科学研究所へ見学に行くことにしました。それぞれの日の朝、行ける人が学校に集合してからまとまって出かけました。

2学期の授業で班ごとに分かれて話し合いを始めたところに、先生が来ました。

あ い : わたしは2カ所に行ってきたわ。

けんた : 1カ所しか行けなかった。

たくや : ぼくも1カ所しか行けなかったよ。でも、3人で見学してきたから楽しかった。

しょうた : 環境科学研究所は2人で行ってきたよ。

みさき : わたしは日本科学未来館に行きたかったのだけれど、行けなくて残念だったわ。

あ い : みさきさんといっしょに行ったところがあったわよね。

けんた : たくやくんといっしょに行きたかったな。

先 生 : はい、それでは見学した場所については、記録用紙にまとめてもらいます。自分が見学した場所1カ所について1枚^{まい}です。

2カ所見学した人は2枚です。この班は、全部で何枚必要ですか。

しょうた : たくやくんとけんたくんが1枚で、あいさんは2枚だから、みさきさんとぼくのを合わせると7枚です。

先 生 : みなさんの話を聞いていると、それぞれの人がだいたいどこを見学してきたか、見当がつきそうですね。

みさき : どうしてわかるのですか。

すると、先生は右のような表を書き始めました。

先 生 : まず、しょうたくんは環境科学研究所を見学したから○を書き入れますね。次に、みさきさんは日本科学未来館に行けなかったから×を書き入れます。たくやくんが見学した1カ所は、3人で行ったのですね。だからそれは、環境科学研究所ではないですね。

たくや : なぜ、そういうことが言えるのですか。

先生 : それは、環境科学研究所には、しょうたくんが「2人で行った。」
と、言っていたからですよ。

たくや : なるほどね！

先生 : わかりましたか。

先生は、そういいながら、表に○と×を書き入れました。

	国立科学博物館	日本科学未来館	環境科学研究所
あ い			
み さ き		×	
た く や			×
しょうた			○
けんた			

あ い : それなら先生、わたしがどこに行ってきたか、わかりますか。

先生 : ちょっと待ってくださいね。

先生はさらにこの表の空らん○や×を書き入れて、こう言いました。

先生 : 行ってきたかどうかわからない場所には、まず○か×を書き入れてから、みなさんの話と合っているかどうかを調べます。そうすると、いくつかの場合が考えられますね。でも、どの場合でも、あいさんが必ず見学している場所が、1カ所あることがわかりますよ。

(問題) 5人の子どもたちの話をもとに、解答用紙の表の空らんすべてに5人それぞれが行ったと考えられるところには○、行かなかったと考えられるところには×を書き入れて、表を1つ完成させなさい。

また、先生が最後に、「どの場合でも、あいさんが必ず見学している場所が1カ所ある。」と言っていますが、その場所はどこですか。そして、なぜ、そのことがわかるのか、5人の子どもたちの話をもとに順序立てて説明しなさい。

5年生の社会の授業で沖縄の気候とくらしを勉強したとき、沖縄の伝統的な民家が気候に対してさまざまな工夫がされていることを学びました。

これで伝統的な民家に興味をもったともこさん、たけしくん、ひろみさん、まさしくんの4人は、総合的な学習の時間で日本各地の伝統的な民家について調べることにしました。4人と先生が話をしています。

先生：調査は進んでいますか。

たけし：日本各地の民家の中から、岩手県の曲屋、山形県のかぶとづくり、岐阜県の合掌づくり、山梨県のかぶとづくり、佐賀県のくどづくりと、その形に特ちょうのあるものを選んでみました。

ひろみ：気候やくらしがちがうので民家のつくりも形もちがっているね。

ともこ：屋根の形だけ見てもずいぶんちがうよ。

まさし：でもこんなに屋根の形がちがうのに、みんな同じような草みたいなもので屋根が作られているね。

先生：これは湿地に生えるアシや、山や野原に生えるススキなどの草のくきを使っているのです。くきが太くて長さが1メートルから3メートルにもなるこれらの大型の草をいっぱんにカヤと呼んで、秋から冬にかり取り、冬の間に十分にかんそうさせたものを厚く積み重ねて屋根を作ります。そのカヤで作られた屋根を「かやぶき屋根」と呼びます。



カヤで屋根を作る作業

「民俗建築大事典」柏書房(127ページ)
写真提供 菅野康二氏

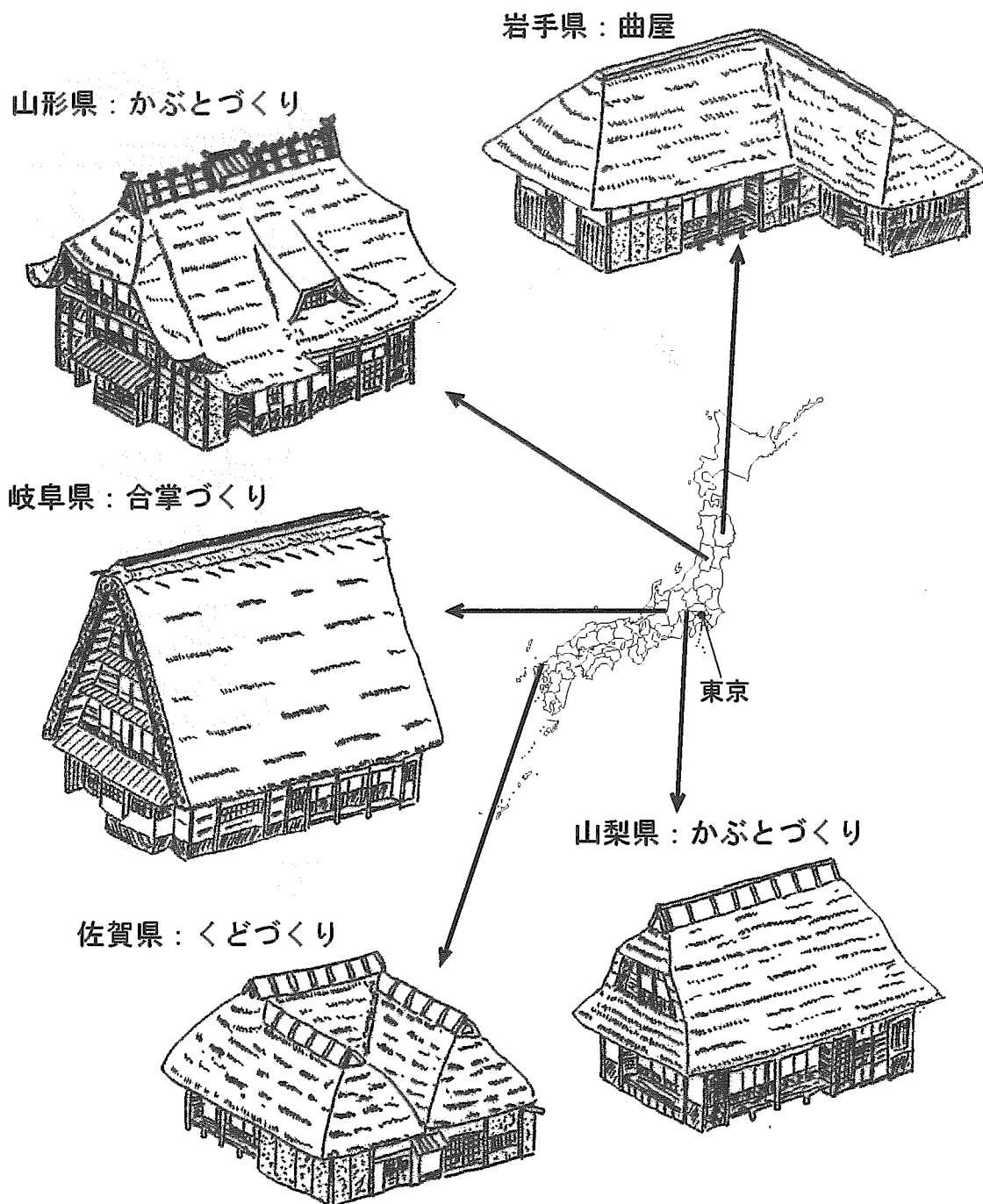
まさし：そのカヤってずいぶん大きいけど重いのですか。

先生：草のくきをかんそうさせているから、かなり軽い材料です。社会の授業で弥生時代の人びとのくらしを学んだとき、教科書の写真や絵に当時の人びとのたて穴住居や高床式の倉庫がのっていたのを覚えていますか。あの住居や倉庫の屋根もかやぶき屋根でした。

たけし：草のくきで屋根を作るなんて、長持ちするのかな。

ともこ：火に対してもだいじょうぶなのかな。

ひろみ：どうしてかやぶき屋根が多いのかしら。



(問題1) なぜ、日本各地の伝統的な民家の多くはかやぶき屋根なのでしょう。カヤを使う理由を1つ考えて書きなさい。

まさしくが岐阜県の合掌づくりの民家が並ぶ集落の写真を見て、あることに気づきました。

まさし：この集落の民家は、
みんなだいたい同じ
向きに建っているね。

ともこ：どっちを向いている
のかしら。

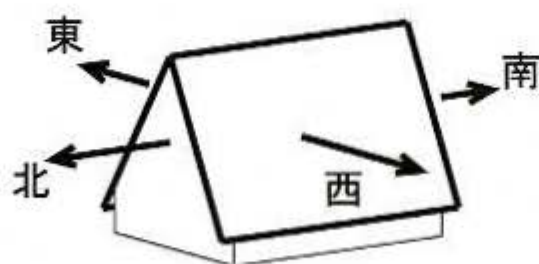
まさし：「この写真は北側から
とっている。」と書いて
あるよ。

ひろみ：図にしてみると、
こんなふうになるの
かな（下図）。急な
かたむきの屋根の面
がほぼ東と西に向い
ている、ということ
ね。

たけし：どうしてみんなだい
たい同じ向きに建て
られているのかな。



岐阜県の合掌づくりの民家が並ぶ集落



ひろみさんのかいた図

（問題２） 岐阜県の伝統的な民家（合掌づくり）は、上の図のような方位に合わせて建てられている。なぜ、民家がこの向きに建てられたのか、理由を１つ考えて書きなさい。

1

(問題 1)

選んだグラフの番号	
わかること	

(問題 2)

(カ) ～ (ケ) で 増えたと予想されるもの	原 因

(問題 3)

--

2

	国立科学博物館	日本科学未来館	環境科学研究所
あ い			
みさき		×	
たくや			×
しょうた			○
けんた			

あいさんの行った場所	
説 明	

3

(問題 1)

理 由

(問題 2)

理 由

受検番号	
------	--

得 点	
-----	--

(例)

適 性 検 査 II

注 意

- 1 問題は放送を聞き、答える問題で、1 ページだけ印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは__時__分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

すみだ ち く ちゅうこういっかん ねんせい がっこう かしょう
墨田地区中高一貫6年制学校 (仮称)

(問題 1) 放送の中では、読書の大切さについて 3 つの意見をあげています。3 つのうち自分が最も賛成できる意見を 1 つ、解答らんらに書きなさい。

また、その意見に対して、放送の中で述べられていた反論はんろんを解答らんらに書きなさい。

(問題 2) (問題 1) で書いたような反論をする人に対して、さらに、読書の大切さをわかってもらうためには、どのように説明しますか。400 字程度で書きなさい。なお、書き出しや段落だんらくを変えたときの空らんらおよび、。 「 」も 1 字に数えます。

適性検査Ⅱ（放送による聞き取り問題台本）

【開始時の説明】

これから、放送による聞き取り問題を行います。この問題は、すべて放送による指示で行います。初めに問題用紙を開き、問題文を読んでください。2分後に本文を読みます。

（2分の間）

本文を2度読みますので、問題用紙の空いているところに自由にメモをとってもかまいません。ただし、答えはすべて解答用紙に書きなさい。それでは、放送を始めます。

【本文の読み】 （本文の内容は右の通り）
もう一度、本文を読みます。

【本文2度目終りよう時の説明】
以上で、放送を終わります。

本文

ある調査によると、小学生から高校生までの9割前後の人が「本を読むことは大切だと思っている。」と答えていました。しかし、実際の1カ月の平均読書冊数は、小学生の7.5冊に対して、中学生になると1.7冊と大きく減ってしまい、読書の大切さが、十分には理解されていないようです。そこで、改めて読書の大切さについて考えてみました。

1つ目は、想像力や感じる力をのばせることです。たとえば、物語などを読むと、えがかれている場面を想像したり、自分も登場人物と同じ気持ちになって喜んだり悲しんだりします。そして、時には感動することによって心も豊かになります。

2つ目は、考える力をのばせることです。たとえば、本を読むと、筆者が何を言いたいのか考えたり、述べられている意見に対して自分なりの考えが生まれたりします。また、なぜそう言えるのか、理由を探そうとします。このように内容を整理しながら読むことによって、物事を筋道立てて考える力が身に付きます。

3つ目は、興味や関心を広げられることです。いろいろな種類の本を読むことによって、それまで知らなかったことを身に付けることができ、新しいことにも興味がわきます。

これら3つのことを読書を通して身に付けることは、人間が成長する上でとても大切なことです。

ところが、ふだんからあまり進んで本を読もうとしない人の中には、次のように反論する人もいます。

1つ目に対しては、「本は、読めない漢字が出てきたりして苦勞するので、ビデオや映画で見た方が手軽に楽しめる。それに、直接心にひびくので、感動して心も豊かになる。」と述べています。

2つ目に対しては、「テレビのニュースなどは、短い時間の中にきちんと事実が整理されていてわかりやすい。それに、考えさせられる内容もある。だから、本を読まなくても、考える力をのばすことができる。」と述べています。

3つ目に対しては、「興味や関心を広げるなら、インターネットを利用した方が便利である。本を読むよりも簡単に多くのことを知り、興味をもつことができる。」と述べています。

あなたは、この3つの意見と反論について、どのように考えますか。

解答用紙 適性検査Ⅱ

(問題 1)

読書の大切さについての意見

反論

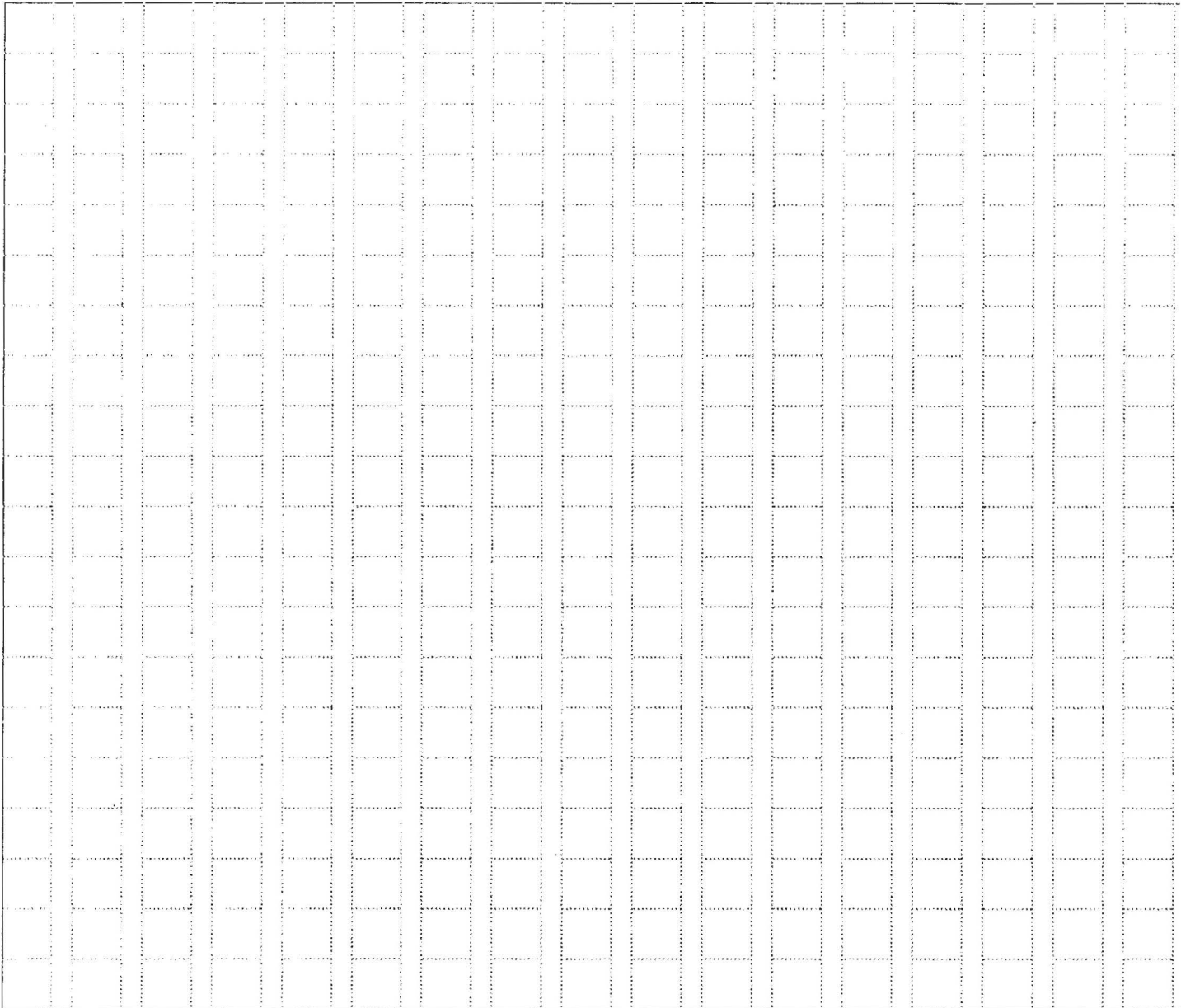
(問題 2)

[illegible]

	反論	
--	----	--

受 検 番 号	
---------	--

得 点	
-----	--



400

300

200

適性検査問題(例)の出題方針等について

墨田地区中高一貫6年制学校（仮称）

墨田地区中高一貫6年制学校（仮称）の
適性検査問題（例）の出題の基本方針等

1 学校像及び育てたい生徒像

墨田地区中高一貫6年制学校の基本計画では、次のような点を「学校像」、「育てたい生徒像」としてあげている。

学校像

- ・教養教育により広く深い教養、知性を培う学校

6年間一貫した体系的な教育課程により、確かな基礎学力を定着させ応用力を培い、高い学力を身に付けさせ、論理的に考え表現する力をもった生徒を育成する。

- ・世界的視野をはぐくむ学校

我が国の社会、自然、文化などへの理解を深めさせることによって、日本人としてのアイデンティティを育成し、国語力と英語によるコミュニケーション能力を伸長して、国際社会で活躍できる生徒を育てる。

- ・地域社会とともに歩む学校

地域と協力した体験的学習、地域調査・研究、公開講座等により、地域から学び、地域に発信し、地域から信頼される学校を目指す。

育てたい生徒像

- ・自らを厳しく律し自ら学ぶ「自律自修」の態度を身に付け、自らの未来を切り拓く意欲と行動力を持ち、様々な分野でリーダーとして活躍する生徒

- ・広く深い教養、知性を身に付け、社会に貢献しようとする高い志と使命感をもった生徒

- ・健やかな心と体を持ち、世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒

2 出題の基本方針

上記「学校像」、「育てたい生徒像」を踏まえ、各教科の知識量ではなく、本校が行う学習活動への適応能力、学習に対する意欲や学んだことを自らの生活に積極的に生かそうとする態度をみるため、以下を出題の基本方針とする。

ア 掲示された課題を理解し、解決するための方策を考え実践する力をみる。

イ 今までに学習した内容を関連させて、分析・考察し、表現する力をみる。

ウ 身近な社会生活の中から課題を見だし、その原因や仕組みを考えることをとおして、思考・判断する力や社会への関心の程度をみる。

エ 話を聞き取り、それに対して自分の考えをわかりやすく文章にまとめ、効果的に他者に伝える力をみる。

適性検査問題（例）の出題方針と各問題の構成及び主な内容

出題の基本方針に基づき、以下の通り適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

1 適性検査Ⅰ（検査時間：45分）

（1）出題の方針

問題を分析する力や、思考力や判断力を生かして解決する総合的な力をみる検査とする。

（2）問題の構成と主な内容

ア 大問3問で構成する。

イ 既習の知識や体験を総合的に活用し、課題に対して筋道を立てて考えたり、それを表現したりする力をみる問題を設定する。

ウ 身近な生活から社会全体へのつながりを考える問題を設定する。

2 適性検査Ⅱ（検査時間：45分）

（1）出題の方針

話を聞き取る力や、自分の意見を他人に伝える文章表現能力をみる検査とする。

（2）問題の構成と主な内容

ア 大問1問で構成し、その中を2問で構成する。

イ 自分の考えや伝えたい内容を400字程度でまとめさせる問題を設定する。

ウ 学校の特色を意識した問題を設定する。

各適性検査問題(例)の出題のねらい及び評価基準

適性検査Ⅰ

出題のねらい			評価基準
1	資料の読み取りの問題を設定し、傾向を読み取る 分析力 や関連する事柄を予想し、原因を探る 論理的思考力 、よりよく生きる方策を考え、それを 表現する力 をみる。	(問題1) 複数の資料から適切なものを選び、傾向を読み取る 分析力 をみる。 (問題2) 資料をもとに変化するものを予想し、その原因を探る 論理的思考力 、 分析力 をみる。 (問題3) わかったことをもとに社会の中で自分はどうか生きるかを 考察する力 、自分の意見を述べる 表現力 をみる。	・2つ以上の資料からわかることを述べているか。 ・グラフの傾向を正しく読み取っているか。 ・根拠となる適切な資料を選んでいるか。 ・資料をもとに、増えたと考えられる項目を2つ予想できているか。 ・それぞれに対応した原因を考えているか。 ・わかりやすく表現しているか。 ・資料や自分で考えた原因に対応した意見になっているか。 ・自分の考えをわかりやすく表現しているか。 ・理由を明らかにしているか。
2	会話文から条件を読み取る問題を設定し、それに矛盾しないパターンを構成していく 分析力 、 論理的思考力 をみる。また、 類推する力 やそれを 論理的に説明する表現力 をみる。		・会話文と矛盾しない表が作成できているか。 ・類推したことを論理的に表現しているか。
3	昔からの生活の知恵とその根拠を考える問題を設定し、 洞察力 や 想像力 、 科学的に物事を考える力 をみる。	(問題1) 日本の伝統的な民家の屋根の材料として、カヤが用いられていること理由を考える 洞察力 、 想像力 をみる。 (問題2) 民家の並びについて、気象や環境を推察しながら、その合理性を 論理的に説明する科学的な思考力 をみる。	・材料の特性をとらえているか。 ・わかりやすく表現しているか。 ・方位をもとに科学的な思考ができているか。 ・論理的に説明しているか。

適性検査Ⅱ

出題のねらい			評価基準
放送による聞き取りの問題を設定し、「聞く」力の正確さ、及び聞き取ったことをもとに 自分の考えや意見を論理的に表現する力 をみる。	(問題1) 聞き取った内容をまとめることにより、 情報を整理し、表現する力 をみる。 (問題2) 課題を適切にとらえ、自分の考えや意見を整理し、 論理的に文章で表現する力 をみる。		・話の内容を整理し、内容を把握できているか。 ・内容を整理し、簡潔かつ適切に表現しているか。 ・課題の意図をとらえ、論旨を明確に示しているか。 ・読書について、放送で聞いた内容を発展させて、自分の考えを述べているか。 ・主語述語、修飾被修飾関係などの係り受けに乱れないか。 ・助詞、助動詞などの付属語が適切に用いられているか。 ・字数制限を守っているか。 ・原稿用紙の使い方が適切か。 ・誤字脱字がないか。送りがなは適切か。

適性検査問題(例)の解答例

適性検査Ⅰ

1	(問題1)	選んだグラフの番号	①、③、⑤			
		わかること	米や魚かい類や野菜・海そうなど、家庭で調理するものの割合が減っている。			
	(問題2)	(ク)	原因:冷とう食品が多く利用されるようになったから。			
		(ケ)	原因:ファミリーレストランなどが増えて外食が手軽にできるようになったから。			
	(問題3)	(例) 手作りのよさが生かせるので、大変でも自分で食材を調理して食べる習慣をつけたいと思う。				
		(例) 手間と時間が節約できるので、外食や調理食品もうまく活用していきたいと思う。				
2						

適性検査Ⅱ

(問題1)

読書の大切さについての意見

想像力や感じる力がのばせ、感動することによって、心も豊かになる。

反論

ビデオやえい画で見た方が手軽に楽しめ、直接心にひびくので感動して、心も豊かになる。

(問題2)

確かにビデオで見たドラマやえい画に感動することはあります。しかし、読書を通して得る感動と、そうしたえい画で得られる感動とは別なものです。

えい画でうつし出されるものは、多くの人に共通の感動をあたえます。それだけに、話題になったり人気も出たりします。しかし、人と同じ本を読んだとしても、読書から得られる感動は自分だけのものです。なぜなら、場面や登場人物のすがたを思いうかべるときにも、自分の経験がもとになって想像しているため、人によってさまざまだからです。この自分だけのイメージを作ることができると、読書の楽しさです。そして、本は読めば読むほど想像力が身に付き、イメージする世界が広がり、心が豊かになります。

心が豊かになることは、自分を成長させることです。わたしは読書を通して感じる力や想像力を高め、人にも自然にもやさしく接することができる人になりたいと思います。みなさんも、本を読んで自分を成長させてください。

(四百二十三字)